

観光社会資本の事例

テーマ	「おわら風の盆」の映える情緒ある“諏訪町本通り・禅寺橋”。	
【施設の状況写真】		
		
<p>諏訪町本通りの沿線を望む。街路の石畳舗装や、沿道建築物のファサードなどが改築され、美しい街並みが形成されている。</p>	<p>おわら踊りのパネルを高欄に設置したり、踊りの編み笠を街灯のデザインに取り入れ、親しみのもてる橋となっている。</p>	
【施設の利用写真】		
		
<p>「おわら風の盆」の町流しでは、整備された通りにおいて、情緒ある雰囲気醸し出している。</p>	<p>「おわら風の盆」の間中はライトアップされ、橋の美しさとともに、観光バスの発着場と会場を結ぶ重要な道として利用されている。</p>	
【観光資源としての利用状況】		
<p>街路整備により、魅力ある美しい街並みが再生され、毎年9月行われる「おわら風の盆」や、5月に行われる「曳山祭り」の良き舞台となっています。さらに、毎年10月に開催される「坂の町アート」や「月見のおわら」など賑わいを創出する各種イベントが実施されています。また、これらのイベントの際に観光バスの発着場・自家用車の駐車場として利用される町民広場と会場を結ぶ禅寺橋は、「おわら風の盆」の期間中の3日間で60,000人余りもの観光客に利用される重要な役割を果たす道となっています。</p> <p>町への観光客の入り込み数は、整備後では、整備前と比較して約 35 万人/年増加しており、多くの観光客を魅了しています。</p>		

テーマ	「おわら風の盆」の映える情緒ある“諏訪町本通り・禅寺橋”。
【社会資本の基礎データ】 ○名称 諏訪町本通線・禅寺橋 ○所在地 富山県富山市八尾町諏訪町本通線沿線・富山市八尾町西町～福島地内 ○事業名 都市計画道路諏訪町本通線整備事業・町単独橋梁維持補修事業 ○事業主体 八尾町(現富山市) ○事業期間 平成2年度～平成10年度	
【社会資本の役割・効果】 ○諏訪町本通り整備効果 諏訪町本通りの路面に御影石を使用した石畳舗装、常夜灯をイメージした木製の街路灯や自然石の足元灯などの整備を行った結果、諏訪町本通線沿線には個別建築に際して景観条例など特に定めがないが、歴史的風情を備えた、八尾らしい建築様式で地域住民が自主的に建て替えを行ったことにより、昔を思わせる格子戸や白壁の家の町並みとなった。 ○禅寺橋の整備効果 禅寺橋の完成により、小・中学生並びに高校生等が毎日通学路として楽しく利用(年間約40,000人)している。また、地域住民の交流(旧町と福島地区)のための通り・憩いの場としての利用や、町民広場から旧町に向かって見える、今町・西町の石垣とともに、町の観光スポット(写真や絵画の題材とされている)として重要な役割を果たしている。	
【位置図】 	
【関連ホームページ】 越中八尾観光協会 http://www.yatsuo.net/kankou 八尾町 http://www.town.yatsuo.toyama.jp/YATSUO	